

# 取扱説明書

## COMET ANTENNA

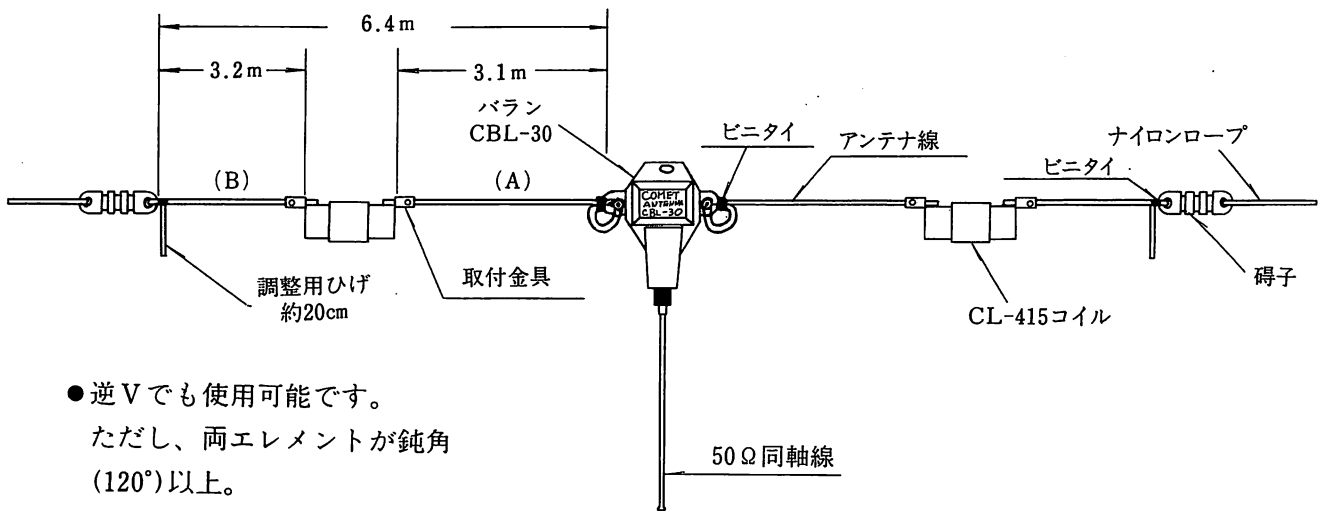
### HF帯 2バンド ダイポールアンテナ

# MODEL CWA-412 (7, 24MHz)

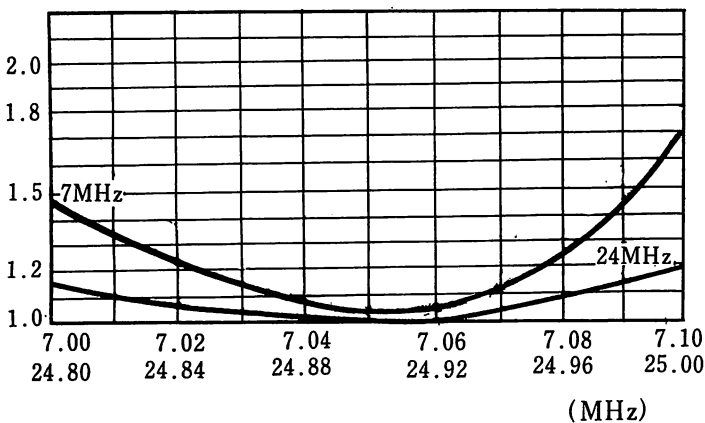
御買上げいただきまして誠にありがとうございます。

このアンテナの組立ては、ドライバー・ニッパ・スパナ等で簡単に組み立てられ、ハンダ付などは必要としません。又、アンテナ線には撚線を使用し、透明ビニール被覆をしてありますので、柔軟性があり、曲げに強く耐候性に富んでいます。アンテナとしては基本的なものですが、調整が取れないと十分に性能が発揮出来ない事がありますので、説明書をお読みの上、作業を行ってください。

### 〔組立図〕



### 〔V SWR特性〕



### ■ 定格

周波数帯	7、24MHz
入力インピーダンス	50Ω
耐電力	500W (PEP) 300W (CW)
V SWR	1.2以下
全長	12.9m

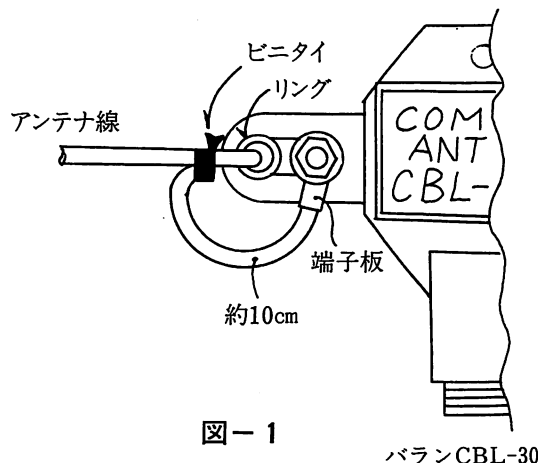
### 新風を送る技術の コメット株式会社

本社：〒335 埼玉県戸田市美女木1-2-30 ☎0484-21-7921(代) FAX. 0484-22-1038  
大阪営業所：〒560 大阪府豊中市登池東町4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011  
仙台営業所：〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀87-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507  
福岡営業所：〒816 福岡市博多区井相田2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532  
札幌営業所：〒004 北海道札幌市白石区厚別南4-34-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。

## 〔組立方法〕

1. バランへのアンテナ線の取付けは、バランの腕の所に付いているリングの中に線を入れ、リングから約10cm程度の所を、包装用ビニタイ（アンテナ線を縛っていた紐）でしっかり縛ります。そして、端子板をナベビスで締め付けます。（図-1 参照）



2. コイルへのアンテナ線の取り付けは、コイルの両端に付いている取付金具の穴の中へ線を奥まで入れ、ナベビスでしっかり固定してください。その際、アンテナ線の被覆をはがす必要はありません。

3. 碍子へのアンテナ線の取り付けは、バランの時と同じ様な形になります。ただし、同調周波数調整用のひげを付けますので、バランの時よりアンテナ線を多く取り（約20cm程度）、ビニタイでしっかり縛りつけた後、組立図の様に下に垂らしておきます。

## 〔調整方法〕

1. 最終的に使用する状態にアンテナを張ってから調整には行ってください。（低い所で調整した後、高く上げると同調周波数が高く変化する事があります。）始めに、24MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(A) エlement (3.1m) の取付金具のビスをゆるめ、少しずつ切りつめてゆきます。2 cm切ると約100KHz高い方に同調します。
2. 24MHz帯が目的の周波数に同調したら、7 MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(B) エlement (3.2m) の調整用ひげを少しずつ切りつめてゆきます。1 cm切ると約20KHz高い方に同調します。

## 〔ご注意〕

- エlementを切る場合、一度に多くの量を切らないで、少しずつ切りつめてゆく様にしてください。
- 設置場所はなるべく近くに建物などの物体の少ない所を選んでください。
- バランのコネクター部分には、防水の為、付属の自己誘着テープを約2倍の長さに引張りながら巻き付けてください。そして、その上からビニールテープを巻き付けていただければ、防水は完全です。